

## やまぐちっ子 学力向上だより

第 6 2 号 H26.12.9

山口県教育庁義務教育課

### 授業づくり拠点校 研修会

山口県の学力の課題は「活用する力」の定着・向上にあります。県教委では「活用力向上研究事業」の一環として、県内35校の授業づくり拠点校における授業公開（国語、算数・数学、理科）及び研究協議を行う「授業づくり拠点校研修会」を行っており、今回はその様子を紹介します。

### 岩国市立岩国中学校の取組

### 岩国市立岩国中学校の取組

学力向上のための授業づくり、授業規律への取組がすばらしく、右のような取組を、教科の枠を越えて、全校体制で進めています。

### 数学科の研修テーマ

数学科では、「数学的活動を通して、生徒同士で関わりあう中で、活用力を身に付けさせる指導の工夫」をテーマに研修を進め、授業公開日には、「コピー用紙の枚数を調べよう（中1：比例の利用）」「条件を加えて合同な三角形を見つけよう

#### 岩国中学校 学力向上のための授業づくり（全教科共通）

- ・理解できているところとできていないところを確認する
- ・課題を把握させる（めあてや目標）
- ・課題を解決するための見通しを立てさせる
- ・課題解決の場面で他者と関わる
- ・課題を更に発展させ、練習させる
- ・振り返りをする

#### 岩国中学校 授業規律への取組（全教科共通）

- ・時間を守る（2分前着席1分前黙想）
- ・学習環境の整備（準備物の確認、机や椅子の整理整頓）
- ・正しい礼儀（授業前後の礼、聞く態度）
- ・板書の工夫（めあてをはっきり示す）

（中2：図形の証明）」の2つの授業を公開していただきました。題材は、やまぐち学習支援プログラムでも取り扱われているものです。

### 公開授業の様子

1年生の授業では、コピー用紙の重さや厚さを調べ、比例関係を利用して枚数を求めました。生徒は、厚さや重さなど測定可能な数量を調べ、班で話し合いながら比例関係を使って枚数を割り出す活動を行っていました。



2年生の授業では、合同になりそうな三角形に対して、対応する辺や角を比べながら三角形が合同になるための条件を班で話し合いました。全校体制で取り組んでいる、学力向上のための授業づくりの工夫が随所に見られました。



## 授業づくりの工夫 点

### 岩国中学校で見られた授業づくりの工夫点

#### ①授業 はじめの工夫

生徒の学ぶ意欲を高める魅力的な課題や題材を準備し、その導入を工夫することで、生徒の意欲を高めています。課題の提示だけでなく、前時の振り返りを行ったり、課題の結果や解決方法を予想したりして、課題やめあての共有を図っています。

#### ②授業 なかの工夫

課題解決のためにグループ学習を積極的に取り入れています。自分たちが考えたことをホワイトボードに記録するだけでなく、考えをまとめていくために自由に使えるサブプリントを準備して、自分たちが解決したり分かったりしていく過程を共有できるようにしています。

#### ③授業 終わりの工夫

学んだことにどのような価値があるかを教師が価値付ける、学んだことが本当に使えるか別の課題を準備する等、一時間の学びの振り返りを行っています。

## 言語活動の重要性



言語活動では、「結果はどのようなになるのか、何をどのようにすれば解決できるのか」を見通し、確かめていく経験を積むことができます。また、子ども同士のかかわり合いにより、様々な考えに触れ、それらをつなげて新しい考えを作り上げることもできます。

こうした学びの経験が積み重なって、子どもたちは「分かるようになる過程、できるようになる過程」を理解します。今後、言語活動の重要性は、ますます高まります。右を参考に、今一度、授業で行う言語活動を再点検してください。取り扱う題材や課題、子どもの状況に応じて、できるところから充実を図っていきましょう。

### 充実した言語活動にみられる共通点

- ① やってみたい課題、解決の必要性のある課題が設定されている
- ② 子どもたちが、活動の目的やねらいを共有している
- ③ 子ども同士で予想や判断を交流している
- ④ 考える場面と説明を聞く場面との切り替えにけじめがある
- ⑤ 子どもたちが結果や解決の過程を吟味している
- ⑥ 学びを振り返り新たな価値に気付く

## やまぐち学習支援 プログラム分析支 援ツールについて

学力定着状況確認問題の実施、採点、入力につきましてはご協力をいただき、ありがとうございます。今年度につきましては、新システムへの移行のため、多くのご迷惑をおかけすることとなり、申し訳ございませんでした。

結果の公表までにはしばらく時間がかかりますが、自校採点の様子などを手掛かりとして、今年度の研修の振り返りや来年度の準備に向けて取り組んでいただきますよう、よろしくお願いいたします。



- ① 課題となっている内容を絞り込む
- ② 学年の枠を越えて、集中して指導する
- ③ 継続的な課題改善のための参考資料や山口学習支援プログラムを使って、その定着を確認する
- ④ 定着が不十分な児童生徒に対し、補充指導をして徹底した定着を図る